

増子ひろき

東京都議会議員

【増子ひろきプロフィール】昭和34年生まれ。衆議院議員秘書を経て平成3年より文京区議会議員4期。平成11年文京区議会議長。平成17年より都議会議員。経済・港湾委員長として新銀行東京・築地市場移転問題に取り組む。現在都議会民主党政策調査会会长代行。スポーツが大好きな愛犬家。



■東京都議会第3回定例会報告

未だに誰も責任負わず 自公賛成で540億円ドブに捨てる

平 成20年第3回定例会が、10月6日に閉会しました。今定例会には、一般会計で935億円の補正予算が提案されました。この予算の約6割にあたる540億円は、新銀行の損失処理に当てられます。この時期を選んで提案されたのは、来年7月に予定される都議会議員選挙とは、できるだけ離したいとする与党の思惑があったと指摘されています。



都議会民主党は、法令上も、今、処理する必要がないことから、銀行失敗の責任を明確にしないまま、なじ崩しに処理すべきではないと主張し、予算の組み替えを提案しましたが、自民党・公明党の反対で否決され、補正予算に反対しました。

民主党は、引き続き、新銀行や東京オリンピック招致、築地市場移転など、都政の様々な問題を徹底して追求していく決意です。

民主党が組み替えを提案

▶ 新銀行損失予算に反対

石原知事が提案した補正予算は、景気対策に名を借りた「新銀行の損失処理予算」「石原失政のもみ消し予算」でしかありません。

新銀行の今年4～6月の無担保・無保証融資件数は、前年同期比93.4%減の29件に激減しています。つまり、中小企業支援を目的に設立された新銀行は、景気後退の状況で、何の役にも立たず、かえって540億円もの余計な支出を強いているのです。

石原知事は、旧経営陣の責任について「いろいろな事例がでている」とか、事業連携について「9月には報告する」など、マスコミ相手には大風呂敷を広げていますが、民主党が質問すると、ハッキリ答えず、再度質問しても、

役人に答弁させる無責任さです。

また、7月25日に立入が終了した金融庁の検査結果について、都は開示を求めないと答弁するなど、都議会との約束であった「適切な監視」も反故にしています。

民主党は、損失責任を誰も取らないことや金融庁の検査結果が不明なままで、急いで処理すべきでないと主張し、補正予算の組み替えを提案、予算に反対しました。

さらに、都議会と国会で連携して、金融対策チームを立ち上げるなど、金融庁や日銀とも厳しいやりとりをしながら、この問題を徹底的に追求しています。



Topics 1

Topics 2

私学助成充実を求める 国に意見書

新たに耐震化補助充実も

► 東京の私立学校は、高校だけでも生徒数で17万人余、56.7%の子どもを教育しています。

しかし、私立高校への公的な補助金は、公立高校への約3分の1で、生徒一人当たり年間約40万円に過ぎません。しかも、その87%が都からの補助です。私立高校の入学金や施設費などの初年度納付金は都立の7倍、授業料は3倍となっています。



意見書では、授業料等軽減補助の創設、耐震化補助率引き上げ等を国に求めました。

民主党は、都の私学助成充実にも取り組んでいきます。

国政・都政・区政に関するご要望・ご意見は…

FAX.03-3818-3230 E-mail hiroki@masuko.info

築地市場の移転問題

現在地再整備を再検討せよ

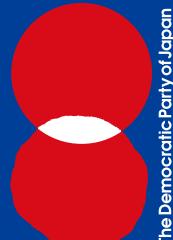


► 民主党は、現在の豊洲移転計画を見直して、公平・公正な形で、現在地での再整備をもう一度検討すべきだと主張。これに対して、石原知事は「豊洲地区への移転は、長い年月をかけて、関係者間で再整備も含め様々な案を検討し、議論を尽くして決定したものだ」と答弁しています。

知事は、専門家会議や技術会議などを設けて、豊洲の土壤汚染問題の解消に躍起になっていますが、その熱意や情熱と同様に、現在地再整備についても、改めて検討すべきではないでしょうか。

駅前都政報告

► 平日7時45分～8時45分まで後楽園、茗荷谷、根津、本駒込、春日、白山、千石など、区内各駅で地元区議会議員の皆さんと一緒に活動報告を行っています。どうぞ気軽にお声かけください。



民主党

**東京を変え、
日本を変える。 増子ひろき 事務所**

〒112-0012 文京区本郷1-34-4 桑山ビル201

TEL.03-3818-3330 FAX.03-3818-3230 E-mail hiroki@masuko.info